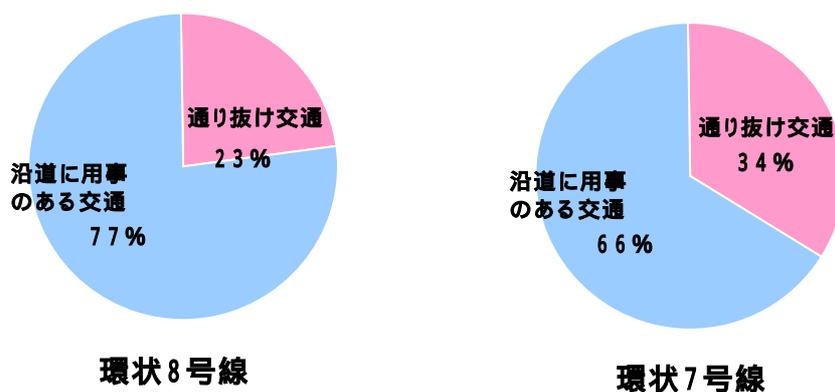


(2) 交通の状況

東京西部地域の一般道路の交通量(断面)は、平成11年10月7日(木)に左図のように観測された。

- 東京西部地域において、南北方向の交通は主として環状8号線と環状7号線が、東西方向の交通は主として青梅街道・甲州街道(国道20号)・国道246号が担っている。
 - 環状8号線は、井の頭通り以北(谷原交差点まで)で5万台/日~7万台/日、以南(瀬田交差点まで)で7万台/日~8万台/日の交通量があり、走行速度の低下が起きている。
 - 環状7号線は、青梅街道以北で6万台/日、以南(上馬交差点まで)で7万台/日~8万台/日の交通量がある。
 - 青梅街道は、4万台/日~5万台/日の交通量がある。
 - 甲州街道(国道20号)は、環状8号線以東で6万台/日~7万台/日、以西で3万台/日~5万台/日の交通量がある。
 - 国道246号には5万台/日~8万台/日の交通量がある。
- なお、平成12年に実施されたナンバープレート調査によると、環状8号線では、沿道に用事のない「通り抜け交通(国道246号と目白通りの間を通り抜ける交通)」が23%観測されている。

環状7・8号線(国道246号~目白通り)
における通過交通の割合



資料: 通り抜け交通の割合は、平成12年国土交通省ナンバープレート調査(実測値)
総交通量はH12.11.28実測値(東京都環境局)